

第30号

花だより

安佐南区
花いっぱい運動

平成28年9月

発行：安佐南区花いっぱい運動推進委員会事務局(安佐南区地域起こし推進課内) ☎ 831-4926 FAX 877-2299

【推進委員会事務局】

松島先生の

園芸作業12カ月



—きれいな花を咲かせよう！

気圧配置が崩れて天候が不安定になり、雨の日が多くなります。そして台風がよく上陸するので天気予報には十分注意し、風、雨対策をします。

また、秋の園芸作業は、春と異なって適期が短いので、園芸作業は早め早めに手際よく済ませておくことが大切です。

葉牡丹の育苗は、アオムシ、コナガの被害をよく受けます。畑やプランターに白い蝶が飛んでいるときには幼虫の発生が多く、こまめに葉散をし、駆除します。

【沼田支部】 報告者：秋山 元子

奥が深い園芸の技術と知識

沼田公民館で松島先生の講座を2年間受講し、種から育てる花の勉強をさせていただきました。しかし、四季折々の多種にわたる花について、また、その他たくさんの園芸の知識について忘れていたことが多々ありました。

この度、大塚公民館の講座を受講させてもらい、「そうだったのか。」と思うことがたくさんありましたので紹介します。

土について

○日本の土は、6～7の中性から弱酸性なので、アルカリの石灰を入れる必要はない。あまり入れると土を固くする。入れるとしても1年に1回少し入れるだけでよい。

○固い土には牛糞や鶏糞を混ぜて土壌改良をする。

水やり

○夏の水やりは、回数は少なく、水をやるときはたっぷりと。(上だけの水やりでは花は根を地中深く下さない。)

施肥

○発芽したら1週間ぐらいから液肥をあげる。1000～1500倍。定植までに株を作っておいて花を咲かせる。鉢上げ時、追肥をしっかりする。定植後は肥料をあまりあげないほうがよい。花が付きだしたら、窒素を控えリン酸・カリウムを入れる。

さし芽

○6月は高温多湿なのでさし芽・挿し木・株分けは成功する。ゼラニウム・コリウス・ポチュラカはさし芽で簡単に早く生長する。芝さくら・アイビーは1年中さし芽ができる。

その他

○花は移植を好む。根を切って移植した方がよい。
○マリーゴールドは肥料をあげすぎると葉ばかり繁り、花の上に葉がくる。

○インパチェンスは花が11月頃まで咲く。但し、その間2回ぐらい切り戻しの必要がある。この花は西陽に一番弱い。夏の直射日光にも弱く、半日日陰でよく生育する。

○アブラムシとハダニはどの花にもつきやすいが、早く見つけて消毒すると早く退治できる。スプレー式の消毒剤は、花に近づけないで、少し離して風上からするとよい。

※今回の講座で一番印象に残った松島先生の言葉は、「ベテランでも失敗する。失敗は成功の元。」です。この言葉を忘れず、失敗しても落ち込まず、花の世話を続けようと思いました。

【祇園西支部】 報告者 : 境 幸美

●葉ボタンの苗

8月2日に種蒔きした紅白の葉ボタンが順調に育ち、3週間後に3号ポットにポット上げしました。松島先生の指導の下に行われている花講座の受講生みなさんに声掛けしたところ、5名の方が参加していただき、半日で終了しました。暑い中、協力ありがとうございました。参加して下さった方もたくさんのポット上げが経験できて勉強になりましたと喜んでいただけました。またよろしくお願ひします。



【たくさんの葉ボタンの苗】

●長束小学校で菊の鉢を植えています

6年生が学校の校庭で育て、11月初旬、民生委員の方と一緒に学区内の一人暮らしのお年寄りに配って喜んでもらっています。夏休みはそれぞれ自宅に持ち帰り、水やり、休み明けは学校に持って行って世話をし、11月の出番を待っています。



【長束小学校の菊の鉢】

●大きなへびウリ!!

公民館のベランダに、つるが伸びへびが巻き付いているように大きなへびウりがなりました。うりなので食べれます。近所のスーパーでも売ってますよ。



【へびウリ! 本当にへびみたいです】

【安東支部】 報告者 : 上長者 辰雄

パンジー・ビオラの種蒔きの時期

～9月中～下旬が最適～

猛暑が続いた夏季が過ぎ朝夕涼しさを感じる季節になりました。8月下旬から10月下旬の間は、種から花苗を育てるガーデニングのパンジー・ビオラ(以下「パンジー等」という。)の種蒔き期です。



パンジー等の発芽適温は、20～25℃で夜間の最低温度が25℃以上を越す熱帯夜が続く時期は、発芽率が低く発芽にばらつきがあります。また、気温が下がり日照時間が短い11月以降は生育が衰えます。開花時期、花の見頃、メリットなどを勘案し、次の三つの時期に蒔くことができますので、参考としてください。

○ 8月下旬～9月上旬…開花のメインは秋冬、秋から咲き始める。

・メリット 早くから花を楽しめる。

・注意点 気温が高いため、発芽にばらつきが出やすい。立ち枯れ病など病気が発生しやすい。徒長しやすい。冷房の効いた室内で発芽されるなど「いかに涼しく管理するか」がポイント

○ 9月中～下旬…種蒔きの最適期です。開花のメインは春、年内に開花し始める。

・メリット 一斉に発芽し、病気がほとんど発生しない。年末から開花し、春に最高の花を咲かせることができる。

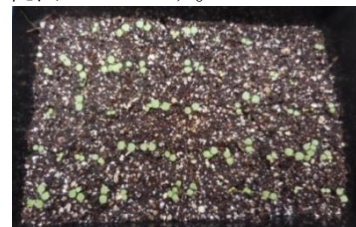
・注意点 株を充実させるため、秋に咲く花は摘むことが必要

○ 10月…開花のメインは晩春から初夏

・メリット 5・6月に迫力ある大株で沢山の花を咲かせることができる。

・注意点 開花は遅めで年内には咲かない。

因みに、熱帯夜が続いていた8月19日、ビオラの種蒔きをし、冷房の効いている台所の窓際にトレーを置いて管理しました。発芽率50%で発芽がまばらであり、半数が徒長しています。



【熱帯夜期に種蒔きしたビオラ】